

きずな

2015年11月号

リバティホームOBの皆様と未来のお客様にお届けする
お客様との輪づくり通信



50周年
ありがとうございます
感謝をこめて



代表取締役
三浦 新一

LibertyHome
RECRUITING



ホームページ
リニューアル中です

皆様お気づきでしょうか。当社のホームページが10月からリニューアルされています。

お陰様で当社のホームページは月間で3万ものアクセスを頂いており、リバティホームの魅力をお伝えできるものと考えております。

しかし今一度原点に立ち戻って、「皆様がリバティホームに求めているものは何なのか？ 皆様がホームページから知りたいことは何なのか？」の話し合いから始めたのです。大勢の意見・考えをもとに、順次改定し、公開を進めています。

10月の半ばには施工例をメインにトップページを変更いたしました。白を基調としたデザインは、すっきりと見やすく変貌したものと思います。

今後11月そして12月と、順次各ページにも手を入れてまいります。

秋の青い空の元、プロのカメラマンとともに施工例の撮影を進めております。皆様に早くお見せしたいお宅はいくつもあります。公開できる日が楽しみでなりません。

今後もリバティホームをよりご理解いただける、そして少しでも多くの魅力をお伝えできるように、日々更新してまいります。

リバティホームのホームページをよろしくお願いたします。

三浦 新一



リバティホームサークルだより事務局・(株)リバティホーム

江戸川区西小岩3-21-30 (奥戸街道沿い) TEL.03-3658-0101 FAX.03-3658-0108





委員会が会社の潤滑油に!

今年の1月から社内で委員会活動が発足し、これまでにきずな誌面でもボウリング大会や地域の清掃活動をご紹介しました。今回「どんな委員会があるの?」とご質問を頂きました。せっかくの機会ですのでご紹介させていただきます。

固定費削減委員会

闇雲に経費を削るのではなく、あくまでも業務の効率化を目指し会社の中のどこに無駄な部分があるのかをみつけ、それを削減することを主眼としております。お客様へ還元できるよう、委員会はもとより全社一丸となって取り組んでまいります。



地域密着委員会

リバティホームの考え方である「地域との共生」をテーマに、様々な取り組みを行っております。6月には柴又街道の沿道を飾る【紫陽花】を大切にしようと、植え込みの清掃を全社で行ったり、夏には地域のお祭りに参加してお神輿を担いだりもしました。また地域の商店会の会合にも出席し、改めて地域での草の根活動の大切さを感じております。

美化委員会

社内や社外の美化を通じて社員一人一人の心の美化にもつながるような活動を心掛けてまいりました。全社員で毎月行われる全体清掃や毎朝行う朝清掃の運営や地域貢献という意味での地域清掃活動も、他の委員会のご協力で実施させて頂きました。一人一人が目的や考えをしっかりと持って活動し、意義のある委員会にしていきます。



社内活性化委員会

リバティホームをもっと元気な会社になるよう、「1.1倍運動」「突発夕礼」「勝手にMVP」等社内の人間関係を活発にする運動を実施しています。

また、そのほかにも3月と7月に社内ボウリング大会を開催。ボウリング大会では、社員のみならず大工さんたちと一緒に楽しみました。終わった後はみんなにつこり!!

顧客満足委員会

「お客様が再度訪れたい会社づくり」をスローガンに立ち上げました。第一、第二モデルハウス、インテリア館、江戸川ショールーム内のお子様向けのDVDやおもちゃの充実を。また新築お引渡し後のアンケートを改訂、運営を開始いたしました。また新入社員が入り、電話やお客様への対応にばらつきが確認できるため、マニュアルの作成を行っております。





木村庄之助が栽いた 日本一のマツ 善養寺影響マツ

善養寺
江戸川区東小岩
2丁目24番2号

小岩駅から南東に徒歩で約20分、江戸川沿いの善養寺に天然記念物の影響マツが威風堂々とたたずんでいるのをご存知ですか？

真言宗豊山派に属する善養寺は1500年ごろに創建といわれていますが、マツはそれ以前に植えられたとされています。樹高は8メートル、幹の太さは4.5メートル、地上2メートルほどのところから枝が四方に延び、100本近い支柱がそれを支えています。生育した枝は東西南北それぞれに30メートルほどにもおよび、繁茂面積は800平方メートルにも及ぶのです。全国から大勢の方がこの影響マツを観光するために連日小岩を訪れているのです。



面白い逸話の一つをご紹介します。樹齢や繁茂面積などで、「日本一のマツ」「日本で最古のマツ」ということでしたが、あるときまたま寺の前を通りかかったタクシーの運転手さんが「私の地元、香川県の志度町の岡野マツこそ日本一」と伝えてきたのです。それからは大変です。年代もほぼ同じ。繁茂面積や樹高もほぼ互角。決め手のないまま互いに「日本一」を主張しあい、マスコミも取り上げて大きな騒ぎとなったのです。

決着のつかないまま迎えた1980年、善養寺で大相撲の行事の法要が執り行われました。そのとき参列した行事の一人が、よりによって志度町の出身。当然任職と口論に発展したのです。これを見かねた立行司の木村庄之助が「どちらも日本一につき双方引き分け」と裁いたのです。そして同席していた小岩出身の日本相撲協会理事長、春日野親方も「双方を東西の横綱に推荐する」と後押しし、長い間の論争は決着したのです。

今でもマツの下に春日野親方から贈られた「日本名松番付横綱推荐表」のプレートが飾られています。

その後、1993年に岡野マツは枯れてしまいました。影響マツも何度も危機を迎えましたが、大勢の努力によって持ちこたえ、1990年には新日本名木100選に、そして2011年には国の天然記念物にも指定されることになりました。

この号をお届けするころは、まさに秋満開。菊祭りなども開催されています。澄み渡る秋空の元、時間を忘れてのんびりと散歩コースに取り入れてみてはいかがでしょうか。

高橋 順

リバティの人



vol. 1

リバティホームもこの11月で50年目。そして来年11月にはいよいよ満50年を迎えます。社員も増えました。これから一年以上にわたり、社員を紹介していきたいと思えます。

初回はプロデュース部を取りまとめる伊東和彦と、新卒で入社10年、企画の測上梨枝子です。



伊東和彦 プロデュース部次長

お客様にとって住まいづくりとはどのようなことでしょうか？

やはり「一番高いお買い物」と思われるのではないのでしょうか。またお金だけではなく、家族みんなが安心して、快適に、末永く暮らすことができる事。住まいとは「事」を実現する「物」なんですよ。

お客様一人一人がそれぞれの価値観で最高の「事」を実現する「物」を求めています。

自分たちは住宅のプロとして、そのようなお客様に対してしっかりと求められている「事」をお聞きし、それを具現化する最高の「物」をご提供してまいります。そして、心からのおもてなしを行い、単なるご満足や喜びだけに留まらず、期待以上の「感動」をお届けすることを使命としております。

一人でも多く、そのような出会い=「ご縁」を持てるよう日々活動してまいります。

測上梨枝子 プロデュース部企画担当

プロデュース部企画担当として、ホームページ関係、イベントのバックアップなどを業務としています。内勤なのでなかなか皆様とお会いする機会が少ないですが、ご入居後に撮影の取材にお伺いさせていただくことがひとつの楽しみです。真っ新だった建物に家具が入って、ご家族の暮らしがしっかりと芽生えているのが伺えます。そんなところからも、家は「建てて終わり」じゃないのだなと感じられます。

完成してからが、本当のお付き合いが始まりますし、住まわれるご家族の思いが詰まっていくことで、家も成長していくのだなと感じられることがやりがいにつながっています。

12月中旬よりまた産休に入ることになりました。一年ほどお休みをいただきますが、復職する際は宜しくお願ひします。



編集後記

スタッフ紹介のコメントでも書きましたが、また産休・育休でお休みを頂くことになりました。男児2人の母になるべく体力をつけなければ!!(測上)

男の子が二人ならば、一人くらいは旅人になるといいねと本気で言うのですが、それには少し抵抗がある様子。次世代の皆さんには広い世界をいろいろ見てほしい!!(高橋)

<http://www.liberty-home.biz>

メールアドレス info@liberty-home.biz